



アフリカの投資促進に向けて ～UNIDOの取り組み～

2019年11月25日(月)

@国際文化会館

第一回 アフリカ協会主催 講演会

国際連合工業開発機関(UNIDO) 東京投資・技術移転促進事務所
所長 安永 裕幸





○ UNIDO = 国際連合工業開発機関

● ミッション

- 開発途上国や市場経済移行国における **包摂的で持続可能な産業開発**
(Inclusive and Sustainable Industrial Development : ISID) の推進
= 工業開発により **一次産品依存** の経済構造を高度化

● 組織

- 創設: 1966年 加盟国 (2019年4月時点): 170ヶ国
- 本部: ウィーン (オーストリア)
- 事務局長: リー・ヨン

● 東京事務所のミッション

- > 創設: 1981年
- > 目的: 日本から途上国への **投資・技術移転** の促進



UNIDOのアフリカでの活動



○ UNIDO東京事務所活動 (1) ～デレゲート・プログラム～

- 日本から開発途上国や新興国への**投資・技術移転促進**を目的に、これらの国から**キーパーソン**を招聘し（1-2週間）、日本で関連セミナー・イベントや企業との1対1での会合の機会を提供する

日本企業にとってのメリット

- ✓ 各国要人との人脈を形成できる
- ✓ 最新のビジネス環境や技術ニーズを知ることができる
- ✓ 各国訪問時にビジネス活動がよりスムーズになる





～デレゲート・プログラム～



Kenya (2009, '10, '16, '19)



Mauritius (2019)



Algeria (2019)



Uganda (2011, 2017, 2018)



Ethiopia (2013, 2018)



Mozambique (2012, '13, '15, '18)



Morocco (2010, 2018)



Egypt (2009, 2013, 2017)



Nigeria (2009, 2010, 2017)



Rwanda (2016)



Ghana (2015)



Lesotho (2014)



Côte d'Ivoire (2014)



Zambia (2012, 2014)



Tunisia (2014)



Senegal (2013)



Tanzania (2012)



Botswana (2009, 2011)



South Africa (2010, 2011)

○ UNIDO東京事務所の活動 (2) ～技術移転～

- **環境技術データベース**: 日本の環境・エネルギー・アグリビジネス・保健衛生技術をUNIDO東京事務所のホームページにて公開 (2019年10月31日時点で 85社から97技術を登録)

URL: http://www.unido.or.jp/en/activities/technology_transfer/technology_db/

双方のステークホルダーにとってのメリット

- ✓ 当該国の課題解決に役立つ日本の技術を簡単に見つけられる
- ✓ 技術の提供者と需要者のマッチングの場となる
- ✓ 技術促進活動の支援を受けることができる(PR ビデオの作成など)



○ UNIDO東京事務所の活動 (3) ～セミナー・イベント～

- 日本国内にてビジネスセミナーやワークショップなどを開催・支援し、開発途上国や新興国における**最新の投資環境や技術ニーズ**を紹介する機会を提供している（共催機関：大使館・JETRO・JICA・AOTS・AfDB等）

日本企業にとってのメリット

- ✓ 現地における最新のビジネス環境や技術ニーズを知ることができる
- ✓ 各国のキーパーソンとの人脈形成を図ることができる
- ✓ 既に投資している日本企業の経験を知ることができる



○ UNIDO東京事務所の活動（4） ～アフリカ（現地）での投資促進～

- **アフリカアドバイザー事業**: 2013年より、アフリカ進出を検討している日本企業を支援するために**アルジェリア、エチオピア、モザンビーク、セネガル**に、経験豊富なアフリカ投資促進アドバイザーを配置

日本企業にとってのメリット

- ✓ 最新の**投資環境情報**を得られ、ビジネス相談もできる
- ✓ 日本企業の**現地パートナー企業探し**や当局への**許認可取得**をサポート
- ✓ 現地視察の際に、ミーティングや現場訪問の機会を提供





【参考】 UNIDO東京事務所のアフリカアドバイザー



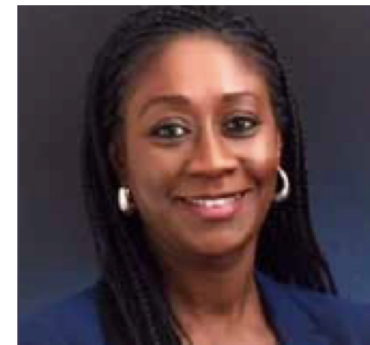
Mr. Kerrar
アルジェリア



Mr. Tadesse
エチオピア
(及びウガンダ、ルワンダ、ブルンジ)



Mr. Durão
モザンビーク



Ms. Ndiaye
セネガル
(及び近隣のフランス語圏諸国)



UNITED NATIONS
INDUSTRIAL DEVELOPMENT ORGANIZATION



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOAL 9
INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE

UNIDO の TICAD7における取組みと成果



IDDA3

Third Industrial Development
Decade for Africa 2016-2025





TICAD7とUNIDO: 公式サイドイベント

ト

アフリカ産業化の未来
～アフリカ大陸自由貿易圏（AfCFTA）で
変わる
アフリカ経済・産業・ビジネス～

250名

政府高官、国際
機関、民間セク
タ、学界を含む
参加者

パネリスト

- アラン・チャレマテン（ガーナ共和国 貿易産業大臣）
- ソヤ・ハウジャレミ（ルワンダ共和国 貿易産業大臣）
- クリストファー・ヤルマ（ザンビア共和国 商業・貿易・産業大臣）
- アダマ・ベイ・ラヌ・ンジャイ（セネガル共和国 産業・中小企業省次官）
- アブドゥ・ムクタール（アフリカ開発銀行 産業貿易開発局長）
- エデム・アングム（AfroChampion共同創設者）
- 大谷 俊一（伊藤忠商事株式会社 執行役員 アフリカ総支配人）
- 菅野 将史（日本貿易振興機構 (JETRO) ヨネスブク事務所次長）

- 日時：2019年8月27日
- 共催：UNIDO, AUC, and AfDB
- 後援：外務省、経済産業省
- イベントでは、AfCFTAの効果的な運用に向けた強い意志が表明され、成長と雇用創出のためのグローバル・パートナーシップの重要性が強調された。





TICAD7とUNIDO: 公式サイドイベント

アフリカ農業・アグリビジネス振興による若年層雇用加速化に向けた旗艦イニシアティブ発足

200名
参加者



- 日時：2019年8月29日
- 主催：国連食糧農業機関
- 共催：国連工業開発機関
- FAO事務局長、UNIDO事務局長、外務副大臣、AUC長官、EU長官、ケニア農業省首席秘書官等
- 協議では、本イニシアティブを、アフリカ農業・アグリビジネス振興による若年層雇用の加速化に向けたものとし、政策・戦略の立案、能力強化、バリューチェーン開発等を通じて、若年層雇用の加速に向けたパートナーシップが重要であるとされた。



TICAD7とUNIDO: 公式サイドイベント

Powering African Innovations

100名

官民学セクター含
参加者



- 日時：2019年8月29日
- 共催：UNIDO、経済産業省
- UNIDO事務次長、パウラ・インガビレルワンダICTイノベーション大臣、関芳弘経済産業副大臣が登壇
- 3つのパネルディスカッション（マイクログリッドと蓄電分野における民間セクターの役割、地熱・水素発電などが取り上げられる）
- 統合的な持続可能な工業発展の分野におけるUNIDOのプレゼンスを示す





TICAD7とUNIDO: 展示会場

UNIDO展示ブース



- 日時：2019年8月27日～30日
- 投資家向けのプログラムなどを含む、アフリカにおけるUNIDOの活動を紹介。
- IDDAⅢのリーフレットや、UNIDOと日本企業の取り組みに関するパンフレットを配布。投資家向けの内容とともに、2017年から続くUNIDOと日本政府のパートナーシップも強調された。



TICAD7とUNIDO: 展示会場

UNIDO展示ブースにて配布した資料





TICAD7とUNIDO: 展示会場

1

ジェトロ主催 ジャパン・フェア
サステイナブル技術普及プラットフォーム(STePP)ブ
ース



265件
期間中に行われ
た商談

51億
円
商談成約/成
約見込総額

- 日時：2019年8月28日~30日
- STePPに登録している日本企業
12社が出品
- アフリカ諸国のビジネスセク
ター、政府関係者と活発な商
談が行われた



TICAD7とUNIDO:その他のイベント

ト

アフリカ企業・UNIDOアドバイザーとの交流・商
三火合



48社

参加した
日本企業

99

開催中に
行われた商談

- 日時：2019年8月30日
- アフリカ企業10社と、4名のUNIDOアフリカ・アドバイザーが参加。





TICAD7とUNIDO:その他のイベント

ト

日本電気株式会社とのMOU署名式



- 日時：2019年8月27日
- 主にICTを用いたISIDの促進を通じた両団体のさらなるパートナーシップに関するMOU署名式。
- UNIDO事務次長と日本電気株式会社副社長が署名



TICAD7とUNIDO:その他のイベント

UNIDOとルワンダ ICTイノベーション大臣による署名式



- 日時：2019年8月29日
- ルワンダで、高効率の蓄電システムを配置するためのマイクロ・グリッドプロジェクトを実施する 双方の意思を確認



TICAD7とUNIDO:その他の公式イベントへの参加



アフリカのきれいな街プラットフォーム(ACCP)



チュニジア・日本 ビジネス・フォーラム



モリタ共和国経済開発銀行(EDB)主催
モリタスにおける投資・貿易の機会



エチオピア ビジネス投資フォーラム



UNIDO東京事務所 ~ 過去の投資促進事例 ~



エチオピア



富士フィルム(株)

医療機関の高い信頼を獲得

アフリカ・アドバイザーの人脈を拠点作りに活用



富士フィルム(株)は東アフリカで医療分野の事業を拡大するため、2014年エチオピアに医療機器販売関連の現地事務所を開設。UNIDO東京事務所のエチオピア・アドバイザーであるタデッセ・セグニ氏は同社に対して、病院を始めとするローカルパートナーの選定、事務所の設立手続き、東アフリカを統括するスタッフの採用などについてサポートした。現在同社は先進医療機器メーカーとして、遠隔地を含むエチオピア国内および周辺国で、官民の病院や地域医療センターから高く評価されておりビジネスも急拡大している。



タデッセ・セグニ氏





エチオピア



(株)ヒロキ



小さな会社の大きな挑戦

エチオピアの皮革業界をリードするパイオニアに

株式会社ヒロキは日本の老舗企業であり、15年程前からエチオピア産のシープレザーを衣料品に用いたパイオニアで横浜の店舗で販売を行う。同社はエチオピアの羊革を中国の自社工場に送り、製品に加工していましたが、エチオピアの革産業の発展と人材育成を目的に現地で製造することを決定。

UNIDO東京事務所のデレゲートプログラムで日本に招聘されたエチオピア投資委員会の担当官と、UNIDO東京事務所のアフリカアドバイザーは、同社がエチオピアに工場を設立する上で必要な支援を行った。

「UNIDO アフリカ アドバイザーが、最新情報の提供や関連機関とのやり取りを支援してくださることで、安心して現地でビジネスを行うことができます。」



リベリア



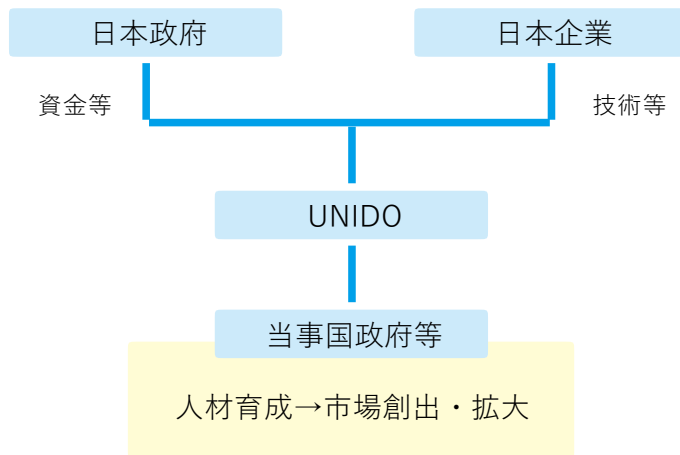
コマツ



国をつくる 建機オペレーターの育成

UNIDOの官民開発パートナーシップが結実した好事例

UNIDOはリベリアでの若者の雇用を促進するため、技術・職業訓練支援プロジェクトを実施しています。コマツはその趣旨に賛同し実践的な機材やトレーニングカリキュラムを提供、さらに日本政府の資金援助を得て実現した。研修コースは本プロジェクトの第1フェーズ（2013～2015年）で現地に設置されたブッカー・ワシントン・インスティテュートの職業訓練センターにて行われている。





エチオピア



LIXIL



衛生改善を現地でサポート

UNIDO 東京事務所が画期的なトイレの普及を支援

2018年にエチオピアを拠点とするUNIDO 東京事務所のアフリカアドバイザーがエチオピア投資委員会からの招聘者と共に訪日し、同社のプロジェクトを知った。

その後アフリカアドバイザーが現地ネットワークを生かして法務、物流、金融などの面からプロジェクトが成功するように継続的な支援を提供した。

同社は現在までにアジア、アフリカなどの25カ国以上の開発途上国に SATO を出荷し、2020年までに1億人の衛生環境を改善することを目指している。



エチオピア投資委員会のアスチャロウ・タデッセ氏（右）と UNIDO アフリカアドバイザーのタデッセ・セグニ氏





南アフリカ



(株)前川製作所



低炭素の冷却システム技術を提供

UNIDO 本部が日本の環境技術普及を支援

UNIDOウィーン本部が日本の外務省から資金援助を受け、2017年6月にアフリカから視察団が来日した。

視察団に参加した南アフリカのサー・フルーツ社は(株)前川製作所をはじめ数社と面談し、南アフリカで同社が製造販売する「サー・フルーツ」ブランドの生産工程で、現在使用する冷却システムを低炭素かつ気候変動に強靱なものにするために必要な技術について意見交換、競争入札を経て、前川製作所が技術パートナーに選定された。

“UNIDO とのパートナーシップは途上国での事業活動に大変プラスになっています。”

(株)前川製作所 執行役員 檜原 龍哉氏





ケニア



大洋電機(株)



茶葉生産の省エネを実現

UNIDO 東京事務所が日本の茶葉萎凋* 技術を紹介

キアモカマ工場の代表者は、UNIDO本部の「低炭素かつ気候変動に強靱な産業開発」プロジェクトの一環で2017年6月に日本を訪問。滞在中、UNIDO 東京事務所が開催したビジネスマッチングイベントに参加し、より効率的で環境に優しい茶葉萎凋*技術を探していた。

キアモカマ工場は環境に優しい大洋電機株式会社の通風機、及びスピードコントロール技術を選び、協働することを決定した。

【萎凋】（いちよう）：
摘み取った生葉の水分を取り除きしおれさせる工程

これによってキアモカマ工場は通風機1台あたりの生産コスト(電力消費と萎凋工数)と二酸化炭素排出量を大幅に減らすことに成功した。





マダガスカル、タンザニア、ナイジェリア



(株)トロムソ

もみ殻は燃料になる

マダガスカル企業が STePP を通じて解決策を発見

AS PRO SAVA 社はSTePP のウェブサイトを通じて株式会社トロムソに問い合わせた結果2018年にグラインドミル 3 台がマダガスカルの工場に導入された。

マダガスカル北部でエッセンシャルオイルを精製している AS PRO SAVA 社は、マダガスカル固有の生態系を脅かす森林破壊を危惧し、再生可能エネルギーを探していた。

使用済みのもみ殻を貴重な有機燃料に変えるグラインドミルは、広島に拠点を構える株式会社トロムソが開発した装置である。グラインドミルはもみ殻を圧縮し長期にわたり形状と質を維持できる固形燃料を作り出す。その用途は日常生活から非常用まで多岐にわたる。

同社は 2012 年 からこの技術をアフリカで活かす機会を求めていました。その技術は 2016 年 8 月に STePPに登録されていた。





モロッコ



矢崎総業(株)

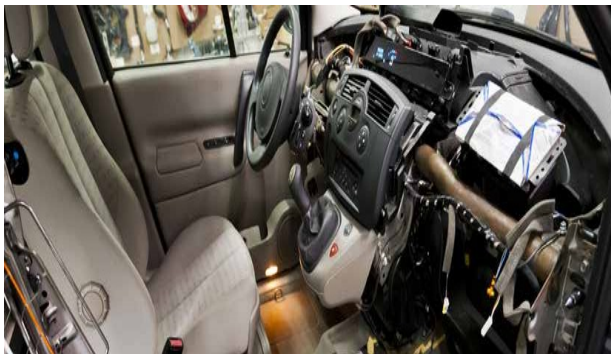


ワイヤーハーネス工場を建設

投資担当官の熱意がモロッコの可能性を拓く

矢崎総業(株)はモロッコへの投資として、計 3 工場をタンジェ、ケニトラ、メクネスに設立し、1 万人以上の雇用創出、そしてモロッコの包摂的かつ持続的な発展と富の形成に貢献した。

UNIDO 東京事務所が招聘したモロッコの投資担当官（当時）であったモハメッド・アレフ・ハッサーニ氏が2000 年から矢崎総業(株)の同国への投資を率先して誘致した。



ミッドパーク・カサブランカ
マネージング・ディレクター
(前・モロッコ投資庁)) M.A. ハッサーニ氏

「矢崎総業(株)による投資は輸出増加やサプライチェーンの発展に影響を与えただけでなく、他の多くの日本企業が後に続き、モロッコ経済の発展に大きく貢献しました。」



M.A. ハッサーニ氏と D. セッカット氏



UNITED NATIONS
INDUSTRIAL DEVELOPMENT ORGANIZATION



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOAL 9
INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE

終

